

年の 班の 號の 姓の 名の :

題の號の	詩の題の作の者の	韻の文の内の容の	家の長の簽の名の
	<p>長の恨の歌の 唐の-白の居の易の</p>	<p>漢の皇の重の色の思の傾の國の，御の宇の多の年の求の不得の。 楊の家の有の女の初の長の成の，養の在の深の閨の人の未の識の。 天の生の麗の質の難の自の棄の，一朝の選の在の君王の側の。 回の眸の一の笑の百の媚の生の，六の宮の粉の黛の無の顔の色の。 春の寒の賜の浴の華の清の池の，温の泉の水の滑の洗の凝の脂の； 侍の兒の扶の起の嬌の無の力の，始の是の新の承の恩の澤の時の。 雲の鬢の花の顔の金の歩の搖の，芙蓉の帳の暖の度の春の宵の； 春の宵の苦の短の日の高の起の，從の此の君王の不早の朝の。 承の歡の侍の宴の無の閑の暇の，春の從の春の遊の夜の專の夜の。 後の宮の佳の麗の三の千の人の，三の千の寵の愛の在の一身の。 金の屋の妝の成の嬌の侍の夜の，玉の樓の宴の罷の醉の和の春の。 姊の妹の弟の兄の皆の列の土の，可の憐の光彩の生の門の戸の。 遂の令の天下の父の母の心の，不の重の生の男の重の生の女の。 驪の宮の高の處の入の青の雲の，仙の樂の風の飄の處の處の聞の。 緩の歌の慢の舞の凝の絲の竹の，盡の日の君王の看の不足の。 漁の陽の鞞の鼓の動の地の來の，驚の破の霓の裳の羽の衣の曲の。 九重の重の城の闕の煙の塵の生の，千の乘の萬の騎の西南の行の。 翠の華の搖の搖の行の復の止の，西の出の都の門の百の餘の里の； 六の軍の不の發の無の奈の何の？宛の轉の蛾の眉の馬の前の死の。 花の鈿の委の地の無の人の收の，翠の翹の金の雀の玉の搔の頭の。 君の王の掩の面の救の不得の，回の看の血の淚の相和の流の。 黃の埃の散の漫の風の蕭の索の，雲の棧の縈の紆の登の劍の閣の。 峨の嵒の山下の少の人行の，旌の旗の無の光の日の色の薄の。 蜀の江の水の碧の蜀の山の青の，聖の主の朝の朝の暮の暮の情の。 行の宮の見の月の傷の心色の，夜の雨の聞の鈴の腸の斷の聲の。 天の旋の地の轉の迴の龍の馭の，到の此の躊躇の不能の去の。 馬の嵬の坡の下の泥の土の中の，不の見の玉の顔の空の死の處の。 君の臣の相の顧の盡の露の衣の，東の望の都の門の信の馬の歸の。 歸の來の池の苑の皆の依の舊の，太の液の芙蓉の未の央の柳の； 芙の蓉の如の面の柳の如の眉の，對の此の如何の不の淚の垂の？ 春の風の桃の李の花の開の日の，秋の雨の梧の桐の葉の落の時分の。 西の宮の南の内多の秋の草の，落の葉の滿の階の紅の不の掃の。 梨の園の弟の子の白の髮の新の，椒の房の阿の監の青の娥の老の。 夕の殿の螢の飛の思の悄の然の，孤の燈の挑の盡の未の成の眠の。 遲の遲の鐘の鼓の初の長の夜の，耿の耿の星の河の欲の曙の天の。</p>	

【 光興小詩人 】

韻文之闖關活動(參考韻文補充教材)

【 第 10 關 】

____年____班____號 姓名: _____

題號	詩題作者	韻文內容	家長簽名
	<p>長恨歌 唐-白居易</p>	<p>鴛鴦瓦冷霜華重，翡翠衾寒誰與共？ 悠悠生死別經年，魂魄不曾來入夢。 臨邛道士鴻都客，能以精誠致魂魄； 為感君王輾轉思，遂教方士殷勤覓。 排空馭氣奔如電，升天入地求之遍； 上窮碧落下黃泉，兩處茫茫皆不見。 忽聞海上有仙山，山在虛無縹緲間。 樓閣玲瓏五雲起，其中綽約多仙子。 中有仙人字太真，雪膚花貌參差是。 金闕西廂叩玉扃，轉教小玉報雙成。 聞道漢家天子使，九華帳裡夢魂驚； 攬衣推枕起徘徊，珠箔銀屏迤邐開。 雲鬢半偏新睡覺，花冠不整下堂來。 風吹仙袂飄飄舉，猶似霓裳羽衣舞。 玉容寂寞淚闌干，梨花一枝春帶雨。 含情凝睇謝君王，一別音容兩渺茫。 昭陽殿裡恩愛絕，蓬萊宮中日月長。 回頭下望人寰處，不見長安見塵霧。 惟將舊物表深情，鈿合金釵寄將去。 釵留一股合一扇，釵擘黃金合分鈿。 但教心似金鈿堅，天上人間會相見。 臨別殷勤重寄詞，詞中有誓兩心知。 七月七日長生殿，夜半無人私語時。 在天願作比翼鳥，在地願為連理枝。 天長地久有時盡，此恨綿綿無絕期。</p>	

小朋友，每背熟一首，請家長簽名，背熟這首韻文，再讓圖書館關主抽背一首過關，就可得到一張獎狀！

教務處

○ 過關，準備領獎囉！

○ 不氣餒，再加油！

關主: _____ 年____月____日